調査制作ワークショップ 音楽情報処理 レポート

|  |  |
| --- | --- |
| 学籍番号 |  |
| 氏名 |  |

レポートの作成方法:

1. レポートは作業の経過を報告する。作業を進めながらレポートの執筆も同時に進めること。
2. レポートは書き進めながら1回(90分)のコマにつき１回度提出すること。
1週目3,4時限の終わりに各1回、2週目の2,3時限の終わりに各1回、全部で4回提出する。
3. まず以下の達成目標を5個書き、それにしたがって試行錯誤を行いながらレポートを書き進めること。達成目標が難しいとわかった場合は目標を修正してかまわない。
4. 達成目標は、成功、失敗という2値型の目標ではなく、目標に向かって少しずつ達成可能な目標とする。

よい例：忙しい感じの音楽 🡨 少しずつ到達できる目標

悪い例: パトカーのサイレンの音 🡨 ある程度似ていない限りは、失敗

達成目標一覧

1 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇する。

2 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇する。

3 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇する。

4 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇する。

5 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇する。

# 達成目標1- ○○○○○○○○する

## 達成目標

どんな効果を出そうとしたか、どのような音を出そうとしたか、などを簡潔に記述してください。

## どのように作業を進めたか

その方法をどうやって調べたか、どのような計算方法を試したか、などをよい結果が得られたかそうでなかったかにかかわらず、漏らさず作業にそって、具体的に記述してください。たとえばインターネットで調べた場合、しらべたページのURLはすべて記録してください。以下のように制作の過程を表形式であらわしてもかまいません。

|  |  |
| --- | --- |
| ソースコード | 説明 |
| 試してみたプログラム | 左の欄に記載したプログラムの変更を行った結果 |
|  |  |

## どう実現したか

完成したプログラム中の変数名や、プログラムの一部を示しながら、詳しく説明してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ソースコード | 説明 |
|  |  |

# 達成目標2- ○○○○○○○○する

## 達成目標

## どのように作業を進めたか

## どう実現したか

|  |  |
| --- | --- |
| ソースコード | 説明 |
|  |  |

# 達成目標3- ○○○○○○○○する

## 達成目標

## どのように作業を進めたか

## どう実現したか

|  |  |
| --- | --- |
| ソースコード | 説明 |
|  |  |

# 達成目標4- ○○○○○○○○する

## 達成目標

## どのように作業を進めたか

## どう実現したか

|  |  |
| --- | --- |
| ソースコード | 説明 |
|  |  |

# 達成目標5- ○○○○○○○○する

## 達成目標

## どのように作業を進めたか

## どう実現したか

|  |  |
| --- | --- |
| ソースコード | 説明 |
|  |  |